



「ごめんね！ちよつと今日は都合悪くなっちゃって…」

「えっ？ そうなの？」

「居酒屋もう予約しちゃってたよ！」

「バイ！ は今日入ってないでしょ？ 急用？」

「えいとお… 学部の人と… ちよつとねっ笑 課題が急に出てさっ」

「そうなんだ… ひな最近忙しくなったよね…」

「デ！ もあんま行けてないし！ 大丈夫そう？」

「うん…！ めんねあつくんじゃあ… 急いでるから… またね？」

「う… うん… 気を付けてね」

「うん♡ ありがとう♡」

飯田ひな 20

「ふ〜んw それで遅れたわけ？ 俺が呼び出したらいつでもどこでもま●こ濡らして飛んで来いっつったよな？」

『でもお…♡ 寂しそうにしてたから…』

「は？ 彼氏より俺が優先だろ？ w そんなんだつたら」

オナホ豚解任しちゃうよ？ いいの？」

『あっ♡ しょうさんがあ…♡ カレシとは付き合ったままでいるってえ♡』

「ハハw 人の女盗るほうがコーファンするしなw それに… 彼氏が居るのに俺にDM送ってきたのは自分だろ？」

『らってえ…♡ あっ♡ これだけで… あっ♡ イっく…♡』

『ハハw キスで軽イキするようになつてきたなw 着替えてこい！ 今日也使つてやるぞ豚♡』

んんん♡

まほ♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

「じゃあ自己紹介してみ?
思いっきり媚びた声でなw」

「はい♡こんにちは♡
しよーさんのオナホ豚4号
やっています♡ひなです♡
■大学●学部で●カレンがいます♡」

「オナホ豚になった経緯も話してみろ」

「えっと…カレンは17年上で
1年くらい付き合ってたんですけど…
告白されて3カ月くらい
エッチも無くて…いじってみたら
短小でしたwしかも中折れしちゃうし…」



「それで前から見てた
しよーさんに思い切って
DMで相談してみました♡
動画で見る女の子達みたいに
気持ちよくなりたくって…♡」

「しよーさんに気に入ってもらって…
今はしよーさんのオナホ豚やっています♡
今日はこれからしよーさんに
いっぱい使ってもらいます♡」

「はい♡よくできましたw
俺みたいなデカチンに出会えて
よかったなw」

「はい♡しよーさんに飼って頂いて
とっても幸せです♡」

「よーしじゃあいつつおみてえに
オナホ豚としての誠意見せてみる
ケツこつちに向けてなw」

『あうっ♡おちんぽあ♡
しよさんのデカチニハマたくて
淫タラタラの雌豚オナホ穴あ♡
今日もびっばい使ってくださあい♡』

『^^^W彼氏が見たら
ぶっ倒れるだろうなW
お前のチン媚ひケツ振りダンス♡』

『あうっ♡カレシには見せませんよ♡
こんな姿見せるのは
ホントに好きな人の前だけですっ♡』

『^^^Wオメエが好きなのは
デカチンだろエロ女W』

♡おちんぽ♡

おちんぽ

おちんぽ

おちんぽ

おちんぽ

♡おちんぽ♡
♡おちんぽ♡
♡おちんぽ♡
♡おちんぽ♡
♡おちんぽ♡
♡おちんぽ♡
♡おちんぽ♡
♡おちんぽ♡
♡おちんぽ♡
♡おちんぽ♡

豚オナホ

4号

『はい♡そうですっ♡
ひなはオチンポおっきな人がタイプな
淫乱マゾ女あ♡
しよさんに思い知らされちゃいました♡
だからはやくっ♡
しよさんのバキバキデカチニはやく
オナホ穴に挿れてえ♡♡』

『^^^WマジでだらしねえW
彼氏持ちの女が
1カ月でここまで墮ちるとか
笑えるわW
ほら次はアレやれよ
この前仕込んでやっただろ?』

『えっ…アレ…またやるんですか?♡』

『おう早くやれよWオナホ豚に
拒否権は無いだろ?W』

12

12

「あーっ♡ももも♡あーっ♡
 今日はい♡メンね♡」
 「ひなちゃん♡うん♡大丈夫
 急用なら仕方ないよ♡どうしたの？」
 「えっ♡ちゅ♡ちゅ♡声
 聞きなへな♡」

あーっ♡ももも♡あーっ♡

「えっ？大丈夫？
 どうかした？」

「ちゅ♡ちゅ♡♡♡♡♡♡♡♡♡
 ちよっ♡と♡び♡く♡り♡し♡ち♡や♡て♡
 もう大丈夫っ♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

「♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
 電話中は♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
 言っ♡て♡た♡の♡に♡い♡い♡い♡♡♡♡♡」

（♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
 おめえの♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
 ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡）

12

12

12

「そう？息も上がってない？
 ホントに大丈夫？」

「ちゅ♡ちゅ♡♡♡♡♡♡♡♡♡
 なんでも♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
 なんでも♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
 ちよっ♡と♡お♡家♡ま♡で♡
 歩♡い♡て♡る♡！♡だ♡け♡だ♡が♡♡ちゅ♡あ♡♡」

（♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
 う♡う♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
 ご♡ん♡な♡の♡さ♡れ♡た♡ら♡
 頭♡お♡か♡じ♡く♡な♡る♡や♡う♡♡）

12

12



「それじゃあ…もう切るねっ」

「えっ…もうデート出来なかったし少し話してられないかな？」

「うう…ちょっと無理そう…」

「そっかじゃあ明日ね俺2限から行くからお昼一緒に食べない？」

「わっ…わかったから…もう切るねっ♡」

「うん…ひなちゃんその…だっ大好きだよ」

↑
↑
↑
↑
↑

は

は

は

あっ♡♡

↑
↑
↑

↑
↑
↑

あ♡

↑
↑
↑

「は？w何勝手に切ってたよw」

「うってえ…しよさんのデカチンハメながら我慢するのなんて無理い♡声も多分聞かれちゃったしい…」

「大丈夫だろwおめえの彼氏バカだしw上手く取り繕っておけよw彼氏いるうちにどんだけ墮ちるかが見てからなw」

「ううっ♡酷い♡でもお…このおチンポずっとハメハメしてたいからあ…言う事全部聞きます♡オナホ豚に拒否権は無いです♡」

「^^^w良い子だな♡♡じゃあついでにゴムも切れたし…生ハメも解禁しろよw」

「えっ…私…人生で1回も生でしたことないですよ…」

「オナホ豚に拒否権はねえだろ？それに…したいだろ？」

「浮気生ハメセックス♡」

「あううう♡ギスしながら命令するのほんじよぐれすよあ♡どうせダメって言ってもハメられちゃうしい…♡いっぱい気持ちよくしてくりゃさいね？♡」

♡
♡
♡
♡
♡

♡
♡
♡
♡
♡

♡
♡
♡
♡
♡

♡
♡
♡
♡
♡

「じゅんじゅん〜今回も朝まで使ってくれてありがとう♡なままだ♡」

「あ〜Wお前マジでマ●コ気持ちいいからWまた使うわW」

「もうW絶対です♡そう言ってる別の女の子飼いはじめちゃうじゃないですか♡」

「^^Wお前も彼氏でもなんでもテキトウに捕まえてやりまくればいいじゃんW穴モテするっしょW」

「え〜W嫌ですよ。しゅさんみたいにカッコよくて稼いでおちんちんが立派な男性ってそんなにいませんもん♡」

「だったら一生俺のオナホ豚やっ तरीやいいだろW都合がいいうちは飼ってやっからなW」

キュ...



「ハイ♡嬉しいです♡私しゅさんの為なら何でもしますし♡今日から中出しもし放題になったオナホ豚4号ちゃんですから♡」

「^^WえっろWやっばお前良いわ〜ちんこ勃ったからこのままウチでパコるわ」

「えっ♡もっ♡元氣なんですから♡わかりました♡ホントはこの後大学なんですけど...今日もいっぱいパコパコお願いします♡」